

青森の大自然にふれて

児童・生徒 県外研修

町内の小中学生20名が参加した平成18年度児童・生徒県外研修が、8月23日から三泊三日で行われました。世界遺産としても知られる青森県白神山地でのトレッキング、星空観察や、ねぶた祭の学習、津軽三味線、りんご収穫、ホタテ漁業などを楽しく体験学習しました。また、野外炊飯調理やコテージ宿泊などの集団生活を通し、力を合わせるこの大切さを学び友情を深めることができました。



色づき始めたりんごの収穫体験

東陽小5年

鵜澤 有里

世界遺産の白神山地にある滝の見学や、ます釣り、りんご収穫など、普段体験できないことが沢山あり、他の学校の人も触れ合うことができると思います。

白神山地の森は、木々たちの工夫や知恵によって作り出されているので神秘的です。暗門の滝は見ていると吸い込まれそうな感じがしました。野外でのバーベキューはみんなで協力し、友達もできたので特別なものでした。飯ごうのご飯は電気で作るものとは違い、おコゲもおいしかったです。津軽三味線は、最初簡単だと思いましたが、バチを持って数分もすると小指が痛くなり、三味線も重く肩が疲れてプロになるのは難しいと思いました。りんごづくりは、天候に左右されやすく害虫にも襲われやすいので、袋で保護したり枝を切ったりして、大変



漁船に乗ってホタテ養殖の学習

な作業だと思いました。ホタテの赤ちゃんはとっても小さくて、小さなホタテが大きくなるのに3年半位かかるって聞いてびっくりしました。

この研修で勉強をしながら色々なことを覚え、友情の大切さを学びました。5分前集合、やる時にはやる、はじめをつける……など、普段の学校生活では教えてくれないことを学びました。違う学校・学年の人たちとも触れ合うのは勉強

の一つで、もっともつと知らない人たちと友情を深めたいと思いました。

また、飛行機に乗る前のチェックも、安全のために多くの人が一生懸命働く姿も見ることができました。そして、利用する私たちもルールに従って楽しい空の旅ができるのだと思いました。

引率をしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。